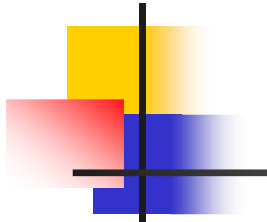


第36回全日本少年サッカー大会富山大会  
兼  
第43回KNB杯富山県学童クラブサッカー大会  
実施要項



富山サッカー友の会

# 抽選会・開会式スケジュール

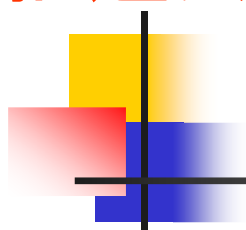


---

8:30	受付開始(チーム代表者1名とキャプテンのみ)	屋内ドーム
10:00	開会式	陸上競技場(晴天時) 屋内ドーム(雨天時)
10:30	抽選会	陸上競技場(晴天時) 屋内ドーム(雨天時)
12:00	少年サッカーの集い(クイズ大会)	開会式と同様
13:00	終了予定	
※10:00~11:30	審判研修会	競技場会議室
※12:00~13:00	監督会議(注意事項等の説明)	競技場会議室

どちらも各チーム1名以上必ず参加すること。

## 抽選会での注意事項



- ① 出席者はチーム代表者1名とキャプテンのみ
- ② 持参するもの

参加申込書(1部)事前にメールをしたもの

登録票(1部)様式は次ページ参照

加盟登録金納付表(1部)

ユニフォーム(FP・GKそれぞれ正副1着ずつ)

試合日変更届け

プラカード

登録票サンプル



所属:富山県サッカー協会 種別:第4種 チーム登録番号: 0011223

チーム名:

継続登録申請

- 1. チーム情報の登録
- 2. 選手情報の登録
- 3. 全ての項目の確認と申請

全ての項目の確認 > 申請完了

以下の内容で申請します。  
内容をご確認のうえ、画面下の[申請する]ボタンをクリックしてください。

チーム情報

協会加盟 1983年 4月      チーム創立 1982年 4月

団体名(チーム名)

フリガナ トヤマサッカースポーツ少年団

名称 富山サッカースポーツ少年団

所在地

所在地 富山県 富山市

代表者

氏名 山田 太郎

種別区分

種別 第4種

種別区分

チーム連絡先

※選手証/監督証の発送先およびJFA/都道府県サッカー協会からの連絡先となります。

住所 〒930-0087 富山市安野屋町1-2-5

フリガナ ヤマダ タロウ

氏名 山田 太郎

自宅 電話 076-443-8311

勤務先 携帯電

FAX

申請ボタンを押す前にインターネットエクスプローラーの左上にある  
ファイル(F) → 印刷(P)で印刷をする。  
\* 申請ボタンの横にある印刷ボタンで印刷は  
しないでください。

e-mailアドレス

監督/審判情報

監督

フリガナ スズキ イチロウ

氏名 鈴木 一郎

指導者資格 C級

指導者登録番号 C000123456

生年月日 1965/1/1

連絡先電話

所属審判員

氏名 富山 二郎

氏名 田中 三郎

継続選手一覧

選手登録番号	氏名	フリガナ	生年月日	学年	男女区分	国籍	登録区分	備考	移籍承
9804050123	鈴木 太郎	スズキ タロウ	1998/04/05	6	男子	日本	アマ		
登録した選手が表示される									
					- 男子	日本	アマ		
					- 男子	日本	アマ		
					- 男子	日本	アマ		
					- 男子	日本	アマ		
					- 男子	日本	アマ		
					- 男子	日本	アマ		
					- 男子	日本	アマ		
					- 男子	日本	アマ		
					- 男子	日本	アマ		
					- 男子	日本	アマ		
					- 男子	日本	アマ		
					- 男子	日本	アマ		
					- 男子	日本	アマ		

継続選手 11名

※選手一覧の画面表示と書類提出に関する

追加選手一覧

選手登録番号	氏名	フリガナ	生年月日	学年	男女区分	国籍	登録区分	備考	移籍承
9804050123	鈴木 太郎	スズキ タロウ	1998/04/05	6	男子	日本	アマ		
					男子	日本	アマ		

追加選手 2名うち 移籍選手 0名

※選手一覧の画面表示と書類提出に関する

抹消選手一覧

選手登録番号	氏名	フリガナ	生年月日	学年	男女区分	国籍	登録区分
9804050123	鈴木 太郎	スズキ タロウ	1998/04/05	6	男子	日本	アマ





# 大会要項の確認

---

## 参加資格

- (1) 「参加チーム」は、大会実施年度に日本サッカー協会第4種及び女子(小学生)に加盟登録したチーム(以下「加盟チーム」)であること
- (2) 上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
- (3) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。
- (4) 都道府県大会から決勝大会に至るまでに、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。
- (5) 「参加選手」は、(財)日本サッカー協会の発行した「加盟チーム」の選手証(写真貼付されたもの)を持参すること。(決勝トーナメント1回戦から)
- (6) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、内1名以上が本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。
- (7) 「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
- (8) 「参加チーム」は必ず傷害保険(スポーツ安全保険)に加入していること。



## 大会要項の確認

---

### 参加チーム及びその数

- (1) 2012年度登録済のチームで、参加可否はがきを提出したチーム。
- (2) 「参加チーム」の構成は、選手20名以内、引率指導者6名以内とする。

### 大会形式

- (1) 参加チームを16グループに分け、予選リーグ(1グループ5もしくは6チームのリーグ戦)を行う。
- (2) 予選リーグ上位2チーム、計32チームは決勝トーナメントへ進出する。
- (3) 予選リーグにおける順位の決定方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
  - ① 全試合の得失点差(総得点－総失点)
  - ② 全試合の総得点
  - ③ 当該チーム同士の対戦成績(勝敗)
  - ④ ①～③の全項目において同一の場合は、ペナルティーマークからのキックにより勝者を決定する。



# 大会要項の確認

## 競技規則

(財)日本サッカー協会「8人制サッカールールと審判法」の「8人制サッカールール」による。

## 競技のフィールド

- (1) フィールドの表面は、天然芝とする。
- (2) フィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)は50mとする。
- (3) ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは、2.15mとする。

### 8人制サッカールールからの抜粋

#### ●競技のフィールド

①ペナルティエリア等:	ペナルティエリア	12m
	ペナルティマーク	8m
	ペナルティアーキの半径	7m
	ゴールエリア	4m
	センターサークルの半径	7m

②ゴール: (略)

※ゴールは、競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない

③交代ゾーン: 自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける(ハーフウェーラインを挟んで3mずつ)





# 大会要項の確認

## 競技者の数および交代

- (1) 1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
- (2) 登録できる交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
- (3) ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

### 8人制サッカールールからの抜粋

#### ●競技者の数

①(略)※一方のチームが8人に満たない場合、両チーム合意の上、極力両チーム同数とする。

注) 本大会においては、8人に満たない場合は試合を開始しない。試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する。

#### ②交代の手続き:

1. 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。(指導者が立会うこと。選手のみで交代を行わないこと)

2. 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。

3. 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。

注) ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

4. 交代について、主審、副審の承認を得る必要はない。



# 大会要項の確認

---

## 競技者の用具

- (1) 競技者の用具については、(財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」およびユニフォーム規程に従うものとする。
- (2) 選手番号については、「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。

## 試合球

アディダス製 タンゴ12キッズ(少年用4号球)を使用する。



## 大会要項の確認

---

### テクニカルエリア

- (1) テクニカルエリア(ベンチ)に入ることができる人数は、交代要員8名、引率指導者3名とする。
- (2) その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。

### 審判員

予選リーグの試合において1人の主審と2人の副審を割り当てる。  
決勝トーナメント1回戦、2回戦は主審を大会本部にて指名する。  
3回戦以降、全ての審判員を大会本部にて指名する。



# 大会要項の確認

---

## 試合時間

- (1) 試合時間は前、後半とも20分間とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了の笛から後半開始まで)は10分とする。
- (2) 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合は予選リーグは引き分けとする。決勝トーナメント1回戦から3回戦まではペナルティーマークからのキックにより勝者となるチームを決定する。  
準決勝および決勝は、前、後半5分ずつの延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティーマークからのキックにより勝者となるチームを決定する。なお、延長戦に入る前のインターバルは5分、ペナルティーマークからのキックに入るまでのインターバルは1分とする。  
尚、3位決定戦は行わない。



# 大会要項の確認

## 8人制サッカールールからの抜粋

### ●延長戦およびPK方式

#### ①(略)

②PK方式において、両チーム3人ずつの競技者がキックを行ったのち、両チームの得点と同じ場合は、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで交互に順序を変えることなくキックは続けられる。

## サッカー競技規則からの抜粋

### 試合またはホームアンドアウェーの対戦の勝者を決定する方法

●ペナルティーマークからのキックの進行中に、ゴールキーパーが負傷してゴールキーパーとしてのプレーが続けられなくなったとき、(略)氏名を届けられている交代要員と交代することができる。

●上記の例外を除いて、延長戦のある場合はそれを含めて、試合終了時にフィールドにいた競技者にのみペナルティーマークからのキックを行う資格が与えられる。

●資格のある競技者は、ペナルティーマークからのキックの進行中に、いつでもゴールキーパーと入れ替わることができる。

●試合が終了し、ペナルティーマークからのキックを行う前に、一方のチームの競技者が相手チームより多い場合、競技者のより多いチームは相手競技者数と等しくなるように競技者数を減らさなければならない。チームの主将は、除外するそれぞれの競技者の氏名と、背番号を主審に通知しなければならない。これによって、除外された競技者はペナルティーマークからのキックに参加することはできない。



# 大会要項の確認

---

## 警告・退場

- (1) 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (2) 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (3) 本大会の異なる試合において警告を2回受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。予選リーグの終了時点で、累積の警告は消滅するものとする。
- (4) 本大会の規律・フェアプレー委員会の委員長は、大会実行委員長が務める。委員については運営委員、審判委員から一人ずつ委員長が任命する。



# 大会要項の確認

---

## 参加申込

- (1) 参加申込できる最大人数は、選手20名、引率指導者6名とする。
- (2) 「参加チーム」は、参加申込書に必要事項を記入の上、2012年4月14日(土)17:00までに大会事務局にメールにて送付し、2012年4月15日(日)に行う抽選会に代表者の捺印をしたものを1部提出すること。
- (3) いかなる理由があっても参加選手の変更は認めない。また参加選手数の追加は認めない。

## 参加料

単一「加盟チーム」から複数チーム参加する場合は2チーム目以降、参加費として10,000円を徴収する。(加盟登録費と同時に振り込むこと)

## 組合せ

2012年4月15日(日)の開会式・抽選会にて決定する。抽選は参加チーム主将による抽選とする。



## 大会要項の確認

### 表彰

- (1) 優勝チームには、(財)日本サッカー協会から代表証、(社)富山県サッカー協会から表彰状、富山サッカー友の会から優勝楯、読売新聞社から優勝カップ、北日本放送から表彰状、優勝カップ、優勝旗、メダルを授与する。
- (2) 準優勝チームには、(社)富山県サッカー協会から表彰状、読売新聞社から準優勝カップ、北日本放送から表彰状、メダルを授与する。
- (3) 第3位チームには(2チーム表彰)
  - ①(社)富山県サッカー協会から表彰状、協賛社からトロフィーを授与する。
  - ②(社)富山県サッカー協会から表彰状、協賛社からトロフィーを授与する。
- (4) グッドマナー賞を決勝トーナメントベスト8の中から大会本部にて選考し、協賛社からトロフィーを授与する。
- (5) その他、参加全チームに参加賞を協賛社から授与する。  
※優勝チームは「第36回全日本少年サッカー大会決勝大会」、「第11回北信越U-12少年サッカー大会」、「第22回北電カップ富山県学童サッカー大会」、「第32回立山杯北日本招待少年サッカー大会」の出場権、準優勝チームには「第34回中部日本招待少年サッカー大会」の出場権を得る。





# 大会要項の確認

---

## 経費

大会にかかる経費は共催社、主管協会で負担するが会場に至る往復の交通費及びその他大会参加に必要な経費は参加チーム及び参加者の負担とする。

## その他

- (1) 試合中に発生した負傷、疾病は大会本部にて応急手当はするが、その後の治療に関しては各チームのスポーツ保険等にて対応すること。
- (2) 取り替え式ポイントシューズの使用を禁ずる。
- (3) 試合時間40分前に、大会本部へ当日メンバー表を2部提出、ユニフォーム (FP・GK) 各正・副一式 (シャツ・ショーツ・ストッキング) を提示し、試合日程の左側をホームチームとし着用するユニフォームは主審が決定する。なお、メンバー表は富山サッカー友の会のホームページからダウンロードした公式戦メンバー表を使用のこと。
- (4) 特別の場合を除き、雨天決行とする。
- (5) 途中棄権チームが出た場合、予選リーグ戦については、当該チームの対戦記録を抹消する。ただし、決勝トーナメント戦においては、特別な事情のない限り棄権を認めない。



## 大会要項の確認

---

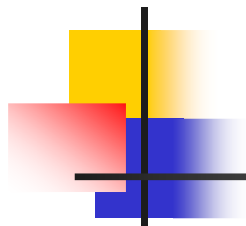
- (6) インフルエンザ等で学校閉鎖・学級閉鎖がある場合、大会当日の棄権を認めます。また、指導者・父兄で試合当日の朝、選手の健康観察などを行い発熱・咳などの風邪の症状や体調不良の選手の出場を見合わせる措置を励行してください。
- (7) 安全上、選手の眼鏡使用は禁止するが、スポーツ眼鏡については主審の許可を得ること。
- (8) 車は絶対に道路に駐車せず、必ず駐車場に入れること。
- (9) シードチーム(JKキッズなめりかわ、FCひがし  
FCマルーン、小杉少年サッカークラブ)



## 大会出場チーム注意事項

- ①コート設営は、各試合日の一試合目の両チームで行う。
- ②メンバー表の提出は、試合40分前に、ユニホーム正、副も本部に提示。
- ③メンバー表の提出は、指導者に限る。〈父母の提出は、不可〉
- ④試合時の各チーム応援は、(父母その他の関係者)チーム選手、指導者とコート反対側の外より応援する。(チームベンチ後ろで応援しない)
- ⑤コートの撤収(後方付け)は、その日最終試合の両チームで行う。
- ⑥引率車、その他応援の車についての駐車場は、各大会指定されているところに、駐車してください。(殿様林堤防上は駐車禁止です)
- ⑦各チームのテントは、指定されている範囲内の場所に設置する。
- ⑧大会参加チームのユニフォームは、日本サッカー協会規定のものでエントリー時のものを2着用意する。また、大会には、必ず持参すること。
- ⑨大会会場での飲酒は絶対にしない事。発覚した場合は処分を致します。

# 審判の心得



## 1. 試合開始60分前までに会場へ到着

本部席に到着後、審判証を当日の審判委員会の責任者に提示し確認をしてもらう。(審判証には必ず写真を貼付のこと)

## 2. メンバー表・ユニフォームの確認

試合開始40分前までにメンバー表が提出されます。そのときに両チームから正・副のフィールド及びゴールキーパーのユニホームの提示もあるので、色等の確認をし、重なる場合は両チーム立ち会いの下、色を決定する。

## 3. 主審と副審の試合前の打合せの徹底

副審の方は、試合後の割り当てになると思いますが、試合開始前に3人で打ち合わせを行い審判証の確認をしてください。(審判報告書に副審の名前の記入漏れも無くなるばかりでなく名前も知らない同士では意志の疎通を欠き、相互の援助体制が生まれない)